令和８年度「甲府市福祉部所管施設に係る指定管理者の候補者選定委員会」
第２回候補者選定委員会　議事録（要旨）

開催日時：令和８年 10 月 26 日（月）午後 4 時 00 分～午後 6 時 15 分
場　　所：甲府市役所本庁舎　9 階　9-2 会議室
　　出席委員：丸山正次委員、茅野昭勇委員、輿石福祉部長、
　　石川福祉部総室長、渡部福祉支援室長
事 務 局：福祉部総務課　神田課長補佐
担 当 課：福祉部長寿介護課　森本課長、大瀬課長補佐

【候補者選定委員会】
１ 開　会
２ 委員長あいさつ
３審査の方法について
４ 協議事項
（１）公募施設の審査
①応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答
②最終評価
（２）審査の結果報告及び参考評価の報告
５ その他

１　開会

２　委員長あいさつ

３　審査の方法について
　事務局より審査方法についての説明

４　協議事項
（１）公募施設の審査
　①応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答

（申請者１入室）
　＜申請者１のプレゼンテーション＞
　＜申請者１への質疑応答＞

【委員 C】
施設の課題は何と捉えているか。
【申請者１】
水回り、電気設備等施設の老朽化が進んでおり、建物を維持していくためのコストを要することがあげられる。また、従業員の人材の確保についても、求人募集に対して応募がなく、現従業員も高齢化が進んでおり、課題である。

【委員 C】
上げていただいた課題を前提に、どのような運営を行っていこうと考えているか。
【申請者１】
修繕要求をリスクの高いものから市に対して行っていくと同時に、細かいものであれば、自分たちで直したり、利用していない施設設備で対応するなど、維持管理をしていきたい。
人材確保については、求人募集を甲府だけでなく、富士吉田・河口湖エリアにも広げて人材の確保につなげていきたい。

【委員 E】
利用者数の増加の要因は、新規なのかリピーターなのか、市内利用者なのか市外利用者なのか、どのように認識しているか。また利用者の増加に向けて実施した取組について効果的と感じたことがあれば教えてほしい。
【申請者１】
市内と市外の利用者、新規利用者とリピーターのどちらが伸びているのか

は分析されてなく不明であるが、感覚としては、新規、市外の利用者が伸びていると思われる。その要因としては、導入した炭酸泉が県内でも珍しく、炭酸泉目当てに来場してる方がおり、設備導入の効果があったと感じている。その他、グーグルでの口コミの管理や SNS による宣伝、フリーペーパーへの掲載等が、新規や市外の利用者の獲得につながっている。

【委員 E】
バスの運行について見直すとの説明があったが、具体的にどんな取組を考えているか。
【申請者１】
これまでは、15 名以上の利用を 1 団体に限り、少人数はお断りさせていただいていたが、９名以下の利用についても受けていきたい。また、1 日 2 便運行について、時間帯ごとのニーズを踏まえた運用改善も考えられる。今後は、AI を活用して、利用者の分析などをマーケティングしていきたい。

【委員 B】
1 日に３団体の利用をしたくても断られる。対応を考えてほしい。
【申請者１】
9 名以下の利用や、増便などで対応する。人材の不足もあるが、利用機会に応えられるよう整備していく。

【委員 D】
申請書に記載のあるイベントについて具体的に説明してほしい。
【申請者１】
すでにやってきたことと、これからのことがある。
地域の散策と座禅は、セットでこれまでツアーとして行ったものを、それぞれ独立して、企画したものである。ピアノミニコンサートについては、施設内に設置していて自由に利用していただいたピアノをより有効活用するため、演奏家によるコンサートを企画するものである。そば打ちや和菓子づくりについては、十分に活用されていない施設の一部を使った、新たな体験型のイベントである。趣味の講座については、現在施設内で販売している植物について、栽培など講座を開くイベントである。健康セミナーについては、これまでもいきいきプラザを利用して行っていたものを継続するものである。防災訓練については、既に行っているが、職員だけでなく、地域住民にも参加してもらうものである。

【委員 A】
施設の料金体系を教えてほしい。
【申請者１】

市内が 310 円、市内子どもが 100 円、障がい者が 110 円、市外が 730 円、市外子ども・障がい者が 310 円である。

【委員 A】

団体利用はいくらか。

【申請者１】

15 人以上の利用で、市外が 520 円である。

【委員 A】

売上前年比 1 割増について、どんなところに力を入れていくのか。

【申請者１】

利用者を増加させることに力を入れたい。

具体的には R8 の利用者は 31,000 人、R9 は 31,300 人、R10 は 35,000 人、R11 は、38,500 人をバスの増便やイベントの充実により目指している。

【委員 A】

富士吉田市の事業所であり、富士吉田方面からの集客についての考え方はあるのか。

【申請者１】

甲府市の施設であるため、甲府市の利用者やリピーターを増やしていきたい。

【委員 C】

申請書の中に「努めていく」という表現が見られるが、「やる」と捉えてよいか。

【申請者１】

設備の導入は、「やる」だが、イベントやバスの増便については、人員確保や応募状況により実施できないものも出てくると考える。

【委員 C】

「満足度の高いサービスの充実に努めていく」という表現は「サービスの充実を図る」と捉えてよいか？

【申請者１】

「やる」方向で考えていただいてよい。

（質疑応答終了、申請者１退室）

（申請者２入室）

＜申請者２のプレゼンテーション＞

＜申請者２への質疑応答＞

【委員 D】

社会福祉法人としての経験や知識を活かすことについて、具体的にどんな

サービスを提供していただけるか。
【申請者２】
かつて、上九一色地区のいきいきサロンへ体操教室を行う形で参加させていただいた。現在は笛南ほうかつが行っている同様のサービスも行い、地域を元気にしたい。また、地域にある定食屋と連携して、地域全体の活性化につなげたい。

【委員 D】
人材確保について伺いたい。
【申請者２】
グループ内での既存施設の募集と併せて募集を行うと同時に、従業員本人の希望を考慮したグループ内での配置換えも考えている。

【委員 E】
地域の方への介護予防や健康づくりについて現時点の具体的なイメージを伺いたい。併せて、市外の人を呼びこむ方法について伺いたい。
【事業所２】
ホームページや SNS を通じて、市外の人にも PR していきたい。健康づくりについては、笛南ほうかつが行っている健康教室に併せて、法人内の看護師による血圧測定を行ったり、セラピストによる健康教室なども行いたい。また、シニアクラブともつながりがあるため、イベントの告知等情報発信を行い、バス等の送迎により利用してもらうことを考えている。

【委員 E】
緊急時には近隣の介護施設からの応援を行うとの説明があったが、具体的にどのような職員を考えているのか。
【申請者２】
施設の配置職員ではなく、シフトに入っていない法人内の中間管理職が、何名かいるので、こうした職員がバックアップできるよう対応していきたい。

【委員 A】
市外の方へのアプローチの１つである、「上九の湯１DAY」利用券についての使い方について教えてほしい。また、リピーターの確認方法はどのように行うことを考えているか。
【申請者２】
「上九の湯１DAY」は、出入りを自由とすることで、特に市外の方が上九の湯を拠点に、近隣に足を延ばせることができれば、利用促進につながると考えている。リピーターの確認方法については、具体的な策をこれから考

えていきたい。

【委員 C】
温浴施設をやる上で現状どんな不安を抱えているか。
【申請者２】
施設の維持管理、人的確保、接客の対応が考えられる。
施設の維持管理については、法人内の施設の課題と類似したところがあるため、その経験を活かしたい。また、接客の対応は、法人内の利用者層とは異なるが、これまでの法人内における経験を活かした対応を行っていきたい。また、マニュアルを整えているため、活用していきたい。

（質疑応答終了、申請者２退室）

（申請者３入室）
＜申請者３のプレゼンテーション＞
＜申請者３への質疑応答＞
【委員 D】
送迎用バスのデマンド運行方法について具体的に教えてほしい。
【申請者３】
従来の定時ルートに加えて、予約システムを用いて、１～２名等の少人数の予約への対応は難しいが、時間内で送迎することを考えている。

【委員 B】
パークゴルフの場所はどこに確保するのか。
【申請者３】
現在利用していない部屋を用い、2 基設置したいと考えている。また、現在事務室としている場所については、広場として健康マージャンを設置し、交流の場として活用したい。

【委員 E】
温浴施設の実績があるとのことであるが、他の施設と比較して、上九の湯の事業運営をするにあたっての課題は何と考えるか。また、職員のおもてなし研修とは、どのように行っていく考えか。
【申請者３】
外部と内部の研修を継続的に行っていく。一番の課題は、フロントの職員で、現在は機械的な応対になっている。まずは地域の方の顔を覚えるよう、声掛けを徹底する。こうした接客の見直しを行うにあたり、入り口の大きな事務室は不適切であり、見直したい。また、他の施設でも同様だが、老朽化への対応として、お客様に見えるところを清潔にすることは必要。

【委員 A】
「ライダーズ＆サイクリスト・オアシス」の提案があるが、実現の見込みはあるのか。
【申請者３】
西湖にサーキット場があり、ライダーへの割引を行い、その利用者等若年・中堅層を呼び込みたい。上九の湯は看板がなくわかりづらいため、道路へ看板を多く設置し、視認性をよくしたい。

（質疑応答終了、申請者３退室）

②最終評価
各委員、最終評価を記入し、事務局が「審査評価（基準）表」を回収

（２）審査の結果報告及び参考評価の報告
事務局より、各申請者の評価点の平均に価格点を加えた合計点の報告。
委員長より、最も高かった申請者を「候補者」、次に高かった申請者を「次点候補者」として選定することを報告

５　その他
特になし

以　上